学校番号	１００７

令和３年度　美術科

教科	美術	科目	素描	単位数	２単位	年次	３年次
講座名	素描特別講座						
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

時間を設定し、時間内で作品を必ず仕上げ提出するようにしてください。
実力に応じてモチーフを増やしたり、様々な素材を描きわけたりします。
定期的に合評を行い、どうすればよくなるかを考える場を設け、自分の作品や在り方についての理解を深めると同時に、他者の作品にも目を向け、味わい共感しましょう。

２　学習の到達目標

・モチーフをよく観察することを通して、ものを見る目を養う。
・立体物を平面上に描く技術を習得する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	素描の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な素描の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	素描の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
第1ターム	基本の形のデッサン	・ガイダンス ・基本の形のデッサン ・クロッキー ・合評	○	○	○	○	a:課題について理解し、意欲的に取り組めたか。 b:引いて見ることを常に実行することができたか。また、それにより自分のデッサンを客観的に見ることや、描く効果について確認できたか。 c:技法や材料、用具の特性を理解し、目的や意図に応じて、特性や効果を生かして表現できたか。 d:プロセスを客観的に振り返ることができたか。また、次の制作に繋げる意欲と関心が高まったか。	学習活動の様子 制作の様子 作品 鑑賞ワークシート
第2ターム	進路別デッサン	・進路別デッサン ・想定デッサン ・クロッキー ・合評	○	○	○	○	a:課題について理解し、意欲的に取り組めたか。 b:引いて見ることを常に実行することができたか。また、それにより自分のデッサンを客観的に見ることや、描く効果について確認できたか。 c:技法や材料、用具の特性を理解し、目的や意図に応じて、特性や効果を生かして表現できたか。 d:プロセスを客観的に振り返ることができたか。また、次の制作に繋げる意欲と関心が高まったか。	学習活動の様子 制作の様子 作品 鑑賞ワークシート

第3ターム	進路別デッサン	・進路別デッサン ・色鉛筆デッサン ・クロッキー ・合評	○	○	○	○	a:課題について理解し、意欲的に取り組めたか。 b:引いて見ることを常に実行することができたか。また、それにより自分のデッサンを客観的に見ることや、描く効果について確認できたか。 c:技法や材料、用具の特性を理解し、目的や意図に応じて、特性や効果を生かして表現できたか。 d:プロセスを客観的に振り返ることができたか。また、次の制作に繋げる意欲と関心が高まったか。	学習活動の様子 制作の様子 作品 鑑賞ワークシート
第4ターム	クロッキー	・　クロッキー ・　合評	○	○	○	○	a:課題について理解し、意欲的に取り組めたか。 b:引いて見ることを常に実行することができたか。また、それにより自分のデッサンを客観的に見ることや、描く効果について確認できたか。 c:技法や材料、用具の特性を理解し、目的や意図に応じて、特性や効果を生かして表現できたか。 d:プロセスを客観的に振り返ることができたか。また、次の制作に繋げる意欲と関心が高まったか。	学習活動の様子 制作の様子 作品 鑑賞ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力

c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。